インターネット号外

東奥日報

2000年8月20日(日)
東奥日報社
〒030-0180 青森市八ツ役上林78

光星準決勝で涙

智弁和歌山に5-7

【光星ー智弁和歌山】3回裏光星1死一、三塁、北川が左越えに同点の3ランホームランを放つ。捕手後藤

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
智弁和歌山	1	1	1	0	0	0	2	2	0	7
光星	0	0	3	0	1	0	1	0	0	5

第八十二回全国高校野球選手権大会は第十三日の二十日、甲子園球場で準決勝を行った。本県代表の光星は今年春選抜準優勝の和歌山県代表・智弁和歌山と対戦。接戦の末5-7と惜しくも敗れ、県勢三十一年ぶりの決勝進出はならなかった。

智弁和歌山は序盤、光星先発の斉藤を攻め、3-0とリード。光星は3点を追う三回裏、一死一、三塁から三番・北川が左越えへ鮮やかな本塁打、3-3に追い付いた。五回裏には一死一、三塁から長澤の投ゴロが二塁セーフになる間に三走・北川がホームイン、4-3と勝ち越した。

智弁和歌山は七回に反撃し、5-4と逆転。光星はその裏、一死満塁から小濱が右犠飛を打ち5-5の同点とした。

智弁和歌山は八回、二死一、二塁から池辺が中前打。ここで光星守備陣が乱れ、7-5と再びリード。光星も終盤粘りを見せたが、あと一歩及ばなかった。

(C) 2000 THE TO-O NIPPO http://www.toonippo.co.jp/